

話そう、珈琲を飲みながら。



荒田珈琲
新聞
Vol. 37

2021.10.24(日)

福島は会津若松の奥地で一人暮らししているヨナ母を訪ねました。
珈琲を飲みながら語り合う日々のあるこれ。お茶が済んだら母の車にカーナビを設置
しなきゃね...と話している時、「そういえばね」と母が口を開きました。

ヘビの 生殺し 未遂事件

母は古い納屋をガレージにしています。隙間だらけの納屋はネズミが
出るので、捕獲用の粘着シートを仕掛けていたのですが…。ある日、母が
車で出かけようと納屋へ入ると、何者かが罠にかかっている様子。なんと
ネズミではなくヘビが捕まっているではありませんか。シートの上で身動き取れないまま
首をもたげています。困って役場に駆除を依頼しても「生きているうちは対応できない」とのこと。
仕方なく、そのままヘビが力尽きるのを待つことにしたそうです。
しかし、3週間してもヘビは生きていて、母も度々確認するのは
気が重く、次第に弱っていくのを放っておくのも辛くなってきました。
「これじゃ、まさにヘビの生殺しじゃないの!」と、とうとうヘビと
対峙する覚悟を決めた午週目。納屋を開けると、もうそこに
ヘビの姿はありませんでした。嘘のような、ホントの話。
ガレージの隅に残っていたシートは店主が丸めて処分しました。ヘビの油で汚れ
た中には脱皮したような痕跡が、なんとなくあったそうです。脱皮!! それはヘビの
奥の手、最終手段。どうにか自力での逃走に成功したのであ、たぶん。



ナビで 迷子未遂事件

田舎道と山、まっおどな道
信号なし



購れてヘビがいなくなった納屋でナビを設置しました(ヘビだのナビ
だの紛らわしいであらね)。いざ試運転を!と案内をスタートすると、
次の問題が発生。田舎道はシンプル過ぎてちっとも試せないのです。
おまけに母がいつも使っている地元の人しか通らない裏道や近道が
マニプルク過ぎて逆にナビがつかってこられません。健気なAIは懸命に
再検索を繰り返してはおかしな道を示るので、母はナビの便利さ
ではなく、わかりやすさを体験したことでしよう(嘆)
ナビが本来の実力を発揮するのはいつになることやら??

東の間の滞在に交わした他愛もない日常のやりとり。
母の顔を見てゆくり話あのも久しぶりでした。心がホッと和みます。
こんな風に、珈琲っていい仕事あるんです!インスタでもきっと格別な
一杯と思えたはずであらね。皆さんも大切な誰かと話ませんか?



次のお休みに珈琲も飲みながら... Let's talk while drinking coffee.